動物用医薬品

ビオエンチ® Bio-Enti 下痢止

■効能又は効果

下痢における症状の改善

■用法及び用量

下記量を1日3回経口投与する。

牛：　100～200g
馬：　70～140g
豚：　20～30g
緬山羊：　20～40g
犬：　5g
猫：　1g
鶏：　0.5g

幼畜は右表の用量比にもとづき適宜減量する。

動物種	体　重	用量比
牛・馬	300kg以上 100～300kg 100kg以下	1 1／2 1／4
豚・緬山羊	100kg以上 30～100kg 10～30kg 10kg以下	1 1／2 1／3 1／5
犬	20kg以上 5～20kg 5kg以下	1 1／2 1／4
猫	3kg以上 1～3kg 1kg以下	1 1／2 1／4
鶏	大すう、成鶏 中すう 幼すう	1 1／2 1／4

■使用上の注意（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。

　牛・馬・豚・緬山羊・鶏：7日間

（取扱い及び廃棄のための注意）

- 変色が認められた場合には使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- 本剤の調製又は使用に際しては、粉塵を吸い込まないよう、保護マスク、保護手袋及び保護メガネを着用すること。
- 取扱い場所には、必要に応じて局所排気装置を設置すること。
- 取扱い後は、手、顔等を石けんでよく洗い、うがいをすること。
- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

（対象動物等に関する注意）

- 強制経口投与の場合は誤嚥に注意すること。

■包　装

100g×10包

■貯蔵方法

気密容器、室温保存

製造販売元

東亜薬品工業株式会社

〒151-0073　東京都渋谷区笹塚 2-1-11
URL:http://www.toabio.co.jp/

販売店

404P9-4

動物用医薬品

ビオエンチ®
Bio-Enti
下痢止

TOA BIOPHARMA CO., LTD.

ビオエンチ® Bio-Enti 下痢止

下痢は家畜の疾病のうちでも非常に発生頻度の高い疾病で、これによる畜産家の経済的損失は計り知れないものがあります。
下痢には、水分と塩分の分泌亢進作用によるものと吸収抑制によるものとがあり、発生の原因には不良飼料の摂取、細菌、ウイルス感染、環境変化等があります。
ビオエンチは、タンニン酸アルブミン、次硝酸ビスマス、アクリノール水和物、オウバク末および天然ケイ酸アルミニウムをバランスよく配合し、各成分の協力作用によって殺菌、防腐、吸着、止瀉、収斂、粘膜保護、整腸作用を現わし、下痢の諸症状を改善します。

成　分

本品1g中に下記成分を含有する。

タンニン酸アルブミン	30mg
次硝酸ビスマス	30mg
アクリノール	2.5mg
オウバク末	20mg
天然ケイ酸アルミニウム	907.5mg

特　長

- 多くの型の下痢に有効である。
- 作用が強くかつ副作用が少ない。
- 作用の発現が早く、作用は長時間持続する。
- 疾病および体力の回復が速やかである。

薬理作用

タンニン酸アルブミン（タンナルビン）

タンニン酸とアルブミンの化合物で、胃液には殆ど影響されずに小腸に達し、膵液によって徐々に分解されタンニン酸を遊離する。したがって、タンニン酸に見られる胃障害をきたすことなく、全腸管にわたりタンニン酸の収斂作用が緩和に現われ、炎症部粘膜の保護にあたる。

次硝酸ビスマス

腸内異常発酵による有害物質（硫化水素など）を吸着する。また、炎症部位に付着して粘膜への刺激を防いだり、強力な収斂作用を現わす。

アクリノール

各種化膿菌、腸内有害菌に対し、静菌並びに殺菌作用がある。有機物質に影響されにくく、また、生体組織に対して刺激を与えない。

オウバク末

主成分ベルベリン（$C_{20}H_{19}NO_5$）は、多くの型の下痢に有効で、エンテロトキシン（腸管内毒素）などによる回腸や大腸における水分・塩分の分泌亢進に対して強い抑制作用を示す。

天然ケイ酸アルミニウム

胃及び腸内における、異常有害物質、過剰の水分または粘液などの吸着除去作用により、強力な止瀉作用を示す。また、粘膜保護被膜を形成し、収斂作用を現わす。



